

プロミツン灯笼流し開催

コロナ犠牲者も一緒に弔う オンライン中継で800基放す

プロミツン日伯文化体育協会(前田フアビオ会長)は「第2回プロミツン灯笼流し」を、11月2日午後6時30分から聖州プロミツン市のアグアス公園(Parque das águas)で開催した。当日会場には2面の大型モニターが設置され、専用ドローンを使用して同公園内にある大きな池に流された800基あまりの灯笼の様子が中継された。同モニターでの西村武やトヨタ・イザなど日系歌手の映像や、和太鼓などの日本舞踊の映像なども流れ、来場者はドライブイン・シアター方式で車の中から映像を楽しんだ。



800基の灯笼を池に放す様子

(三世)は「今年には本年のように大々的にやりたいが大変な1年で多くの方です」と語る。

「プロミツンの犠牲者になりましたが、今年の犠牲者の声もあり行うことにしました。今年はいくつかの規模ですが、来年は少し小規模ですが、来年文化が広く知れ渡るいい機会です。」



リンス本願寺主管岡山智浄氏



用意されたモニター



前田フアビオ会長

「共同」在日外国人の子どもの通う外国人学校のうち、行政が管轄していない無認可校に、文部科学省が新型コロナウイルス対策の情報を、各国の言葉でメール送信する検討を始めたことが21日、同省への取材で分かった。無認可校は、さまざまな分野で行政の支援対策を求めているが、発生を防止するために対策が急務だった。子どもの就学状況を把握にも役立つとして、これを足掛かりに連携を深め、他の支援にもつながりたい考え。

無認可外国人学校を支援へ 文科省、コロナ情報提供

文科省が2019年に初めて実施した調査で、小中学生に相当する年齢の外国人の子どもの数は約12万4千人おり、うち約1万9千人が就学していない可能性があることが判明。実際には無認可校に通っている子どももいるとみられるが、詳細は不明で、就学支援のためにもデータを蓄積する方針だ。

文科省によると、都道府県に各種学校として認可されている外国人学校は19年3月時点で126校。コロナ対策として文科省がマスクを配布した。

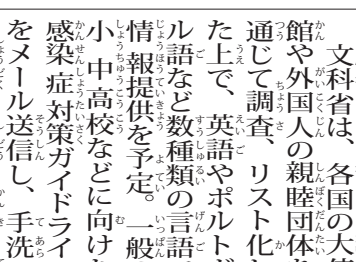
文科省によると、都道府県に各種学校として認可されている外国人学校は19年3月時点で126校。コロナ対策として文科省がマスクを配布した。

マナウス草の根協力で運動場整備 リョータ・オヤマ州立小学校に

在マナウス日本国総領事館(関口ひとみ総領事)は11月6日、日本政府の草の根・人間の安全保障無償資金協力による「リョータ・オヤマ州立小学校運動場整備計画」の贈与契約署名式を、同校の父兄教師コミュニティ協会(APMC、オサナ・リマ会長)との間で行った。

同計画は小学校の運動場(5197.71平米)を改修し、体育授業環境を整備することにより、教育の質の向上を目的として8万6335ドルまでを限度に供与される。

リマ会長は「運動場の整備はかねてからの願いでした。承認して下さった日本政府に心から感謝します」と感謝を表明した。



関係者と記念写真。左から二番目が関口総領事(在マナウス総領事館提供写真)

漫画家協会 日本史オンライン講座修了 対面時の2倍も受講生集まる

ブラジル漫画家協会(Abrademi、佐藤フランシスコ紀行会長)とブラジル三重県人会(下川孝会長)が共催するポルトガル語のオンライン「日本史講座」が、11月1日に全20回の授業を盛況のうちに終了した。これに大変でしたが無事終了しました。全てを終えた佐藤会長は、その達成感と安堵の入り混じったコメントを寄せた。

同講座は6月21日にオンラインの授業第1回を開始。「オンライン授業は初めてだった」という佐藤会長だが、同協会内にいたオンラインで英語を教えている会員から習い、実験を兼ねた講演会を6月11日に開催して、同講座開催への自信を深めた。

パンデミック直前、最後に「沖繩」の歴史を取り上げた。特に最終回は授業後の質問に答えてくれた。

「(三世)は「今年には本年のように大々的にやりたいが大変な1年で多くの方です」と語る。

「プロミツンの犠牲者になりましたが、今年の犠牲者の声もあり行うことにしました。今年はいくつかの規模ですが、来年は少し小規模ですが、来年文化が広く知れ渡るいい機会です。」



オンライン授業を行う佐藤会長と受講者の様子(Abrademi提供)

「共同」在日外国人の子どもの通う外国人学校のうち、行政が管轄していない無認可校に、文部科学省が新型コロナウイルス対策の情報を、各国の言葉でメール送信する検討を始めたことが21日、同省への取材で分かった。無認可校は、さまざまな分野で行政の支援対策を求めているが、発生を防止するために対策が急務だった。子どもの就学状況を把握にも役立つとして、これを足掛かりに連携を深め、他の支援にもつながりたい考え。



関係者と記念写真。左から二番目が関口総領事(在マナウス総領事館提供写真)

四十九日法要のお知らせ

故・田中敬吾(元サンパウロ新聞社会部次長)の納骨式と四十九日法要を左記の日時にいたします。

日時: 二十二年十一月二十八日
場所: 南米浄土宗別院日伯寺
Av. Paula Ferreira 1133 Piquete São Paulo SP
電話: (11) 3976-5771

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため十時から十時半は親族と友だち十五人のみの法要を行います。その後、十二時までは友人、知人の皆様にお参りをさせていただきます。

なお、法要は南米浄土宗別院日伯寺のチャンネル(Youtube: Templo Budista Jodojusu BetsuinNipakuj)からライブ配信いたします。

二〇二二年十一月二十五日 喪主 田中 リナ

当時の日本では、同じような発想のもとに、朝鮮や中国への進出の流れが大きくなっていったが、上塚の考えは、世界というものを相手にするのであれば、それはアジアに限定するのではなく、もっと広く、ある意味ではもっと将来性のある西洋の文明が支配する国々に進出すべきだといふものであった。そして、その実現の可能性があるのは南米なのではないか。それが彼の持論でもあった。

特に、国が巨大であるということでも、ブラジルが有望であるというのが上塚の構想の元となった。実は、それとまったく同じようなことを考えていたのが、鈴木貞次郎である。いつかみれば移民というものに関して、あるいは日本人の将来というものについて、上塚と同じ思想と構想を、彼自身も持っていたのである。

第一回の日本人移民に起きた問題と、自らの苦い経験を下敷きにして、もっと現実的な、しかも同時に、将来を見据えた自立自営としての理想的な植民地の形を、このブラジルで造り上げられないものかというものが上塚の構想であった。鈴木がその上塚の意見にのめり込むようにして共鳴したのも当然であったといえよう。

上塚は、移民の人々からの支持は絶大であったし、植民地内の運営に当たって問題は何もなかったが、対外交渉や政治的折衝のことになるとあまり得意ではなかった。その点、ポルトガル語も十分に出来、ブラジルでのその方面での経験も豊富な鈴木貞次郎は、その辺りを驚くほどの機敏さで解決していった。

それはまさに適役であったし、時間の経過とともに植民地にとっても彼は、貴重な存在となった。上塚第一植民地といった土地所有権の登録とか、入植した人々それぞれの登録といったことも、鈴木が動きすべてが確実に行われ、後になって問題が生じてくるという事態に陥ることが、各地でしばしば起きた。地方の土地は、所有権のことで常に問題が起き、争いが絶えないのが普通であった。

もう少し後の時代だが、日本人移民が独立して、自分の農場を購入しようとしたとき、ブラジルの事情に不慣れな上に、ポルトガル語も完全には理解できないというハンディのために、だまされることが開拓されるような原生林のままの土地は、特に、まだこれから開拓されるような原生林のままの土地は、このような問題が起きる確率が高かったのである。

上塚周平の植民地構想は見事に実を結び、初期日本人移民たちに勝り得たということではない。

何しろ、上塚を頼って集まって来る人々の大半は、ほとんど着の身着のままという状態で、まったく余裕がなかったから、上塚や鈴木たちにとってこの植民地という事業は、営利のみを考えた場合、まるで見返りの薄いものであった。農地の分譲、販売の段階では、長期の分割払いにも関わらず、大半の人々がその支払いを滞りさせた。

純然たる金儲け主義でやるには、あまりにも可能性が低すぎるものだったことは明らかである。半ば援助というように形では日本から融資してくれた人々に対する支払いも、決してスムーズにいったわけではない。

Dr. MONICA Y. MORISHITA 電気鍼療法
Biomedica 生物医科学
Pós-Graduação em Acupuntura 磁石による治療
大学院で鍼灸学を専攻いたしました 体重減少にも効果的

LOCAL: Rua Thomaz Gonzaga, 95 - M (Iwate-Kenjinkai)
Liberdade - São Paulo - SP (perto do metrô Liberdade)
CONTATO: (11) 99236-3956 "Recado no WhatsApp"
E-mail: monicamorishita@yahoo.com.br

小説 クリスト・レイ
中島宏

(80)

「アルゼンチン工場を刺激に」

チャン社長が見解語る

生産コストの克服が課題

トヨタが23年前に建設したアルゼンチン工場は、現在、輸出拠点に変貌している。2020年だけで見て、この工場が製造した車両の80%がラテンアメリカ全域を含む23カ国に輸出されている。トヨタ・ブラジルのラファエル・チャン社長は、アルゼンチン工場が成功体験をブラジルでもなぞろうと取り組んでいるが、生産コストを引き上げる様々な問題から、ブラジル工場の場合、輸出比率を20%以上に引き上げるのは難しいという。

税クレジットの問題も



トヨタ・ブラジルのラファエル・チャン社長

チャン社長は、サンパウロ州インダストゥアル・ソコカバの工場は、輸出比率を達成している。収支のバランスをとるには、少なくとも30%を輸出する必要があるという。同社長によると、ブラジル長官による、ブラジルの競争力強化、構造改革、とりわけ税制改革がどのように進められるかに左右される状況だ。アルゼンチン国内では生産コスト、とりわけ労務費が非常に低いと指摘した。

ANMが議決を公示へ

岩石探掘のネック解消に向け



Fiesp 通商防衛措置の強化を要請

メルコスルとEUの合意などで

メルコスルと欧州連合(EU)の自由貿易協定(FTA)の合意を分析するにあたって、サンパウロ州工業連盟(Fiesp)がこのほど、警告を発した。民間部門は税率の引き下げに大きな注目を払っているが、アンチダンピング措置や反補助金措置、セーフガード措置といった通商防衛措置の強化に対する注意が非常に重要になってきている。この提案では、工業部門の代表者は、政府に提出する88ページに及ぶ提案をまとめている。この提案では、

優先的貿易協定に関する将来の交渉において、貿易パートナーの不公平とみなされる慣行に対抗するための業界の強化版防衛措置を考慮している。Fiespの代表者は、税率の引き下げが市場を開拓し、通商防衛措置の強化を後押しする。輸入税率の引き下げは貿易を拡大する自動車エンジンに例えられる。一方、通商防衛措置は、自由化に伴って発生する不測の事態や損失に対するブレーキに例えられる。Fiespは、グローバル・セーフガードの適用において相互に適用外とする措置の不足を指摘する。

市場では、2車種目のハイブリッド車(HV)の2019年以降、同社は輸出した車両に課税された。これは同額が認められるはずの税クレジットを受け取っていないという。

トヨタの場合、未収入は12億レアルに達している。これは新型車の開発に使用できていない資金だ。同社は、新型コロナウイルスのパンデミックを理由に投資計画を先送りしなかった唯一の自動車メーカーであり、同社長の主張には説得力がある。トヨタは従来通り、2021年からソコカバ工場に製造する新型車に10億レアルを投資する計画を維持している。ただし、具体的な車種は現在段階では明かされていない。

初期にリリースされたのは、2019年のセダ、カローラで、レシプロ・エンジンの燃料はガソリン自由で使用できる世界初のHVだった。既にカローラの20%を占め、モデル内で15%と予想していたトヨタの予想を上回る人気である。(18日付掲載)

市場の予想を上回る過去最高益

JBSが31億レの純利益

市場の予想を上回る過去最高益

アメリカの上場に向かつて足場固めを進めているJBSが11日、2020年第3四半期、市場の予想を上回る過去最高益を計上したと発表した。

同社の発表によると、当期の純利益は31億レアルで、3億5600万レアルの純利益を計上していた前年同期のほぼ9倍だ。同社のCEOは、過去数年にわたって利払いの削減に取り組んできたことを強調し、これが株主の利益の拡大につながったと説明した。

同社は過去1年で純利益を17億ドル増やしたが、9月30日時点での91億レアルに引き下げた。当期の金融支出は、前年同期と比較して1310万レアル削減したという。この結果、減損前利益(EBITDA)に対する負債の比率は、前年同期末の2.1倍から、当期末は1.83倍に引き下げた。ド建ての場合、1.75倍から1.6倍に引き下げた。

健全な財務状況を反映し、同社は、株主への配当と同時に有機的な投資、買収提案にも道を開いた。ドル建てで投資したレバレッジを2倍に引き上げるには、16億ドルの投資が求められる。さらに2.5倍という快速な水準を達成するには50億ドルの投資が必要になる。このシナリオを踏襲すると、JBSは2024年までに、ブラジル国内に80億レアルの投資が求められる。なお、当期のEBITDAは前年同期比35%増の79億レアル。EBITDAマージンは0.1%ポイント引き上げ11.4%とした。(12日付掲載)

10月に農産物輸出が6%余減

大豆と食肉の輸出ペース不調

農務省が経済省貿易局(Secex)のデータによると、10月のブラジルの農産物輸出は、大豆と食肉の輸出ペースが冷え込んだのを反映する形で、前年同月比6.2%減の81億8100万ドルにとどまったことがわかった。砂糖の輸出が拡大したのが、主要輸出品目であった。大豆と食肉の落ち込みを補ってできなかった。

10月の農産物輸入は、前年同月比0.2%減の12億3000万ドルだった。この結果、月間の農産物の貿易収支は69億7800万ドルで、前年同月を7.2%上回った。

輸出を牽引する大豆及び大豆派生品の輸出は、前年同月比8.4%増、12カ月では6%減となった。2020年1-10月の見ると、業界の輸出は前年同期比5.7%増の858億4900万ドルとなった。(13日付掲載)

アウラが国際操業規模を2倍に

25年までに15億レ投資へ

上場して7億9千万レアルを調達したアウラ・ミネラルズが、2025年までに国際的な操業規模を2倍に引き上げる計画をスタートさせた。同社はブラジルとアメリカ、メキシコ、コロンビア、ホンジュラスに鉱山を持ち、この期間に15億レアルを投資する。この投資のうち3分の2は、ブラジル向けになる見込みだ。同社のロドリゴ・バル

鉱山には投資がなされておらず、採掘期間は短い。生産性はずで、既存の鉱山の生産拡大に加え、2022年から2023年にかけて、トカンチン州のアルマ・プロジェクトとマツ・プロジェクトをスタートさせる。2020年第4四半期(10-12月)はこの鉱山のおかげで堅調な業績を達成できるだろうと、同社長はコメントした。

同社の狙いは、今後5

市場の予想を上回る過去最高益

JBSが31億レの純利益

市場の予想を上回る過去最高益

アメリカの上場に向かつて足場固めを進めているJBSが11日、2020年第3四半期、市場の予想を上回る過去最高益を計上したと発表した。

同社の発表によると、当期の純利益は31億レアルで、3億5600万レアルの純利益を計上していた前年同期のほぼ9倍だ。同社のCEOは、過去数年にわたって利払いの削減に取り組んできたことを強調し、これが株主の利益の拡大につながったと説明した。

同社は過去1年で純利益を17億ドル増やしたが、9月30日時点での91億レアルに引き下げた。当期の金融支出は、前年同期と比較して1310万レアル削減したという。この結果、減損前利益(EBITDA)に対する負債の比率は、前年同期末の2.1倍から、当期末は1.83倍に引き下げた。ド建ての場合、1.75倍から1.6倍に引き下げた。

健全な財務状況を反映し、同社は、株主への配当と同時に有機的な投資、買収提案にも道を開いた。ドル建てで投資したレバレッジを2倍に引き上げるには、16億ドルの投資が求められる。さらに2.5倍という快速な水準を達成するには50億ドルの投資が必要になる。このシナリオを踏襲すると、JBSは2024年までに、ブラジル国内に80億レアルの投資が求められる。なお、当期のEBITDAは前年同期比35%増の79億レアル。EBITDAマージンは0.1%ポイント引き上げ11.4%とした。(12日付掲載)

10月に農産物輸出が6%余減

大豆と食肉の輸出ペース不調

農務省が経済省貿易局(Secex)のデータによると、10月のブラジルの農産物輸出は、大豆と食肉の輸出ペースが冷え込んだのを反映する形で、前年同月比6.2%減の81億8100万ドルにとどまったことがわかった。砂糖の輸出が拡大したのが、主要輸出品目であった。大豆と食肉の落ち込みを補ってできなかった。

10月の農産物輸入は、前年同月比0.2%減の12億3000万ドルだった。この結果、月間の農産物の貿易収支は69億7800万ドルで、前年同月を7.2%上回った。

輸出を牽引する大豆及び大豆派生品の輸出は、前年同月比8.4%増、12カ月では6%減となった。2020年1-10月の見ると、業界の輸出は前年同期比5.7%増の858億4900万ドルとなった。(13日付掲載)

ニッケイ俳壇

(1088)

伊那 宏選

モジ・ダス・ルーゼス

浅海喜世子

犯人はなめくじであり庭あらし

濁る池澄ませ夏空ははしくなく

池面に映った夏空ははしくなく、濁った水面がたかき澄みわたったように見える。と詠っている。作者の研ぎ澄まされた感覚が生んだ夏の景色である。濁り水が一つの反射鏡としての役割を持ち、それが作者の内面に反射して、水面の面積だけ、しかし、果てなく広い世界が描き出された。これによって、作者の見たものあるいは思いが美化され、ここに詩として昇華したのである。

織田真由美

森 りつ子

植物園命あふるる春の潤

そこいて亀子道中土かぶり

夜叉もとき葉吹きコナ守られる
手ばなしの自転車の子風薫る
道連れは服はらませる青葉風

西田はるの

たがやして学識もなく世にも不

さずらん別名ゆかき君かげ草

「故郷を離れると生涯望郷の念はつきまじう。ふるさとほどに忘れられずともそれは本心ではない。諦めである。自分の立ち位置を自覚した思いである。望郷とは懐郷のこと、あるときさみしき出すこと、歌謡『ふるさと』を口ずさみながら懐かしむあの故郷こそ、永遠に抱き続ける移民たちの、ふるさとである。春を惜しむ心情にも似て、いつまでも消え去ることのない故郷なのである。」

浦野マルガリーダ

藤井美智子

ウオキング春野せせらぎ治つて行く
声上げて鏡り始まる朝の市
花アヤメ笑みてるように咲き乱れ

久間かつ子

大皿やサラダの主演赤トマト

トランプの敗北認めぬ夏の月
夏の月季節あやふや病む地球
柔らかき若葉にそぐ朝日かな
味の濃き庭に自生のミニトマト
夏めてコロナぬれぬ浜の町

キラキラと光る若葉の散歩道
夏めくやコナウイリスいつ終止
人生の出会いと別れの夏

斎藤 勝利

モジ・ダス・ルーゼス

浅海 護也

雷や妻も快活農を継ぐ
懇の道閉さず雑草草いきれ
八十路坂転がり来るやお正月

小松 八景

刻まれし亡き妻一人墓参り

「新しい墓石に亡き妻一人の名前が刻まれている。戦後移住者としての地に始まった家系の始祖としての妻の名前である。次は自分」との作者の思いと覚悟が中七に透む。同時に妻を先に逝かせてしまった夫の悔いと慥悔の思いがそこにある。墓参りは自らを浄化し死者と一体化することだと知らされる。

平間 浩二

逆縁の無沙汰を詫いで墓参り

「早くに我が子を亡くされたのであろうか、思い煩いながらも、墓参りまなぬ吾が身に免じて無沙汰を詫いでる両親の姿がそこにある。展覧をする人の思いはそれそれ複雑、花を添え、手を合わせることによって死者と繋がり、せめて一年に一度は...との思いで多くの人は展覧の日を迎える。肅然とさせられる一句だ。」

後藤たけし

片陰に手を振る母と別れけり

片陰に手を振る母と別れけり
片陰に老人と天添夜つて
夏の雲霞に染めて夕日落つ

山畑 嵩

夕立あと目を眺め返すにはたつみ

夕立あと目を眺め返すにはたつみ
片陰に水一杯の馳走かな
蹴振るふ汗ふつと老の顔

山畑 泰子

片陰を辿りて歩く散歩道

火取虫窓をうつつ訪ふ心来
片陰に憩ふ三葉笑顔満ち

「袖触れ合うも多生の縁」と言われる。小さなつながりにも人の世の縁を感じるというところが、(墓隣り)ともなれば死者にとっては真正正の隣人となり、断ち切れぬ宿世の縁となる。墓参りの日こんな縁はなにもない。墓を包む、展覧の日こんな縁はなにもない。墓を包む、縁となつて両家のお付き合いが生まれることもある。縁とでも言うのであろう。

斎藤 勝利

モジ・ダス・ルーゼス

浅海 護也

片陰を友にゆつて余生いく
火取虫灯り恋しく巡り逢ひ
墓参る今ある幸に感謝して

住谷ひさお

火取虫飛んで我が身を嘆き死す

火取虫飛んで我が身を嘆き死す
墓参り母の胎より生きた延びて
それその移民のドラマ墓参り

林 とみ代

片陰に手を振る母と別れけり

片陰に手を振る母と別れけり
片陰に老人と天添夜つて
夏の雲霞に染めて夕日落つ

鈴木 文子

水玉のブラウス欲しき街は初夏

水玉のブラウス欲しき街は初夏
もう少し瘦せて着てきた夏衣
訪日の墓参り供等真面目

大野 宏江

亡き母と会話しむ墓参り

亡き母と会話しむ墓参り
懐かしき人と逢ひたし火取虫
片陰に孫の背が伸び父を越す

山間の灯りはうすし火取虫

窓外に闇の厚きに火取虫が舞ふ

この辺り尋ねて久し墓参る

この辺り尋ねて久し墓参る
清めらるる心と足違ひ墓参る
墓参る夫に報告羨無し

伊藤みち子

火取虫光を求め身を焦がす

火取虫光を求め身を焦がす
乳母車片陰求め一休み
墓参り花束抱え会いに行く

原 はる江

片陰に学童群がる昼下り

片陰に学童群がる昼下り
墓参る今は墓無く火葬して
火取虫車庫電燈に群がりて

玉田千代美

火取虫飛んで我が身を嘆き死す

火取虫飛んで我が身を嘆き死す
墓参り母の胎より生きた延びて
それその移民のドラマ墓参り

那須 千草

片陰を辿りて歩く散歩道

片陰を辿りて歩く散歩道
火取虫窓をうつつ訪ふ心来
片陰に憩ふ三葉笑顔満ち

「心に墓を洗ひながら独りつづやいたり歌つたり

墓石を通して死者と対話する生者の姿は欲得もな

心を通ふこと。(へらへら)はきつと死者が好

心を通ふこと。(へらへら)はきつと死者が好
きたた歌にちがひなく、生前の思い出をよみがえ
らせながら心満たしたいときを過ぐす

馬場園かね

片陰に赤児すやすや乳母車

片陰に赤児すやすや乳母車
片陰に思ひがけな立話
外灯に乱舞おし火取虫

田中美智子

一面の火蟻轟くや外灯下

一面の火蟻轟くや外灯下
片陰やはみ出し歩くガルヴァン街
すはコナウイリスかも夏の風邪

中問いつえ

片陰に赤児すやすや乳母車

片陰に赤児すやすや乳母車
片陰に思ひがけな立話
外灯に乱舞おし火取虫

大嶽きくえ

花いべり国旗のごし葉も添えて

花いべり国旗のごし葉も添えて
花いべり色す村の並木道
朝寝して慌てて起きる月曜日

庭になる胡瓜一株たのもしき

コナ種時過ぎて早お正月

いずこよ聞かぬのははた神

いずこよ聞かぬのははた神
ランバリ釣は弁当の方が楽しんで
お正月夢も希望も新しく

佐藤けい子

雷に大も恐れてヘッドの下

雷に大も恐れてヘッドの下
胡瓜採むあつさり味が母好み
小川にも網でつくるランバリ

大槻 京子

亡き母の背流すごとく墓洗ふ

亡き母の背流すごとく墓洗ふ
移住してみん捨ててく火取虫
けもの道と誘はれし夏の敷

三宅 昭子

電柱の片陰バス待つ屋下り

電柱の片陰バス待つ屋下り
アマンの祖となる父母の墓洗ふ
妹は永遠に少女な墓参り

安井 信子

コナ種に忍耐強き文化の日

コナ種に忍耐強き文化の日
夕焼けのビルなお高きそびえけり
霧笛の音前に秘め置き六十年

人生に台本はなし夏落葉

前向きに生きる信楽夏雲

手を当てて言葉も掛け墓参る

手を当てて言葉も掛け墓参る
車椅子孫が押し行く墓参り
片陰に女の語切も無し

須賀吐句志

主婦の座を渡して久し朝寝かな

主婦の座を渡して久し朝寝かな
春窮や飢え無き国の民のどか
「春窮」とは頃に収穫された農作物が冬に消費さ
れ、春を迎える頃は不足気味になるという意味
で使われる季語。当地でも乾季(冬)の影響で食
糧価格が高騰して消費者には心配なこともあるが
広大な国土、食べることに困ることはなく、鷹揚
な国民の気質はさほど気にすることもない。そ
んな思いが込められた朝寝

近藤佐代子

花いべり散りしく並木花むしろ

花いべり散りしく並木花むしろ
春窮や思ひはそれそれ老い二人
ほめられて自慢も少し梅の花

高木みよ子

花いべり散りしく並木花むしろ

花いべり散りしく並木花むしろ
春窮や思ひはそれそれ老い二人
ほめられて自慢も少し梅の花

菅原 治美

花いべり散りしく並木花むしろ

花いべり散りしく並木花むしろ
春窮や思ひはそれそれ老い二人
ほめられて自慢も少し梅の花

庭になる胡瓜一株たのもしき

コナ種時過ぎて早お正月

いずこよ聞かぬのははた神

いずこよ聞かぬのははた神
ランバリ釣は弁当の方が楽しんで
お正月夢も希望も新しく

佐藤けい子

雷に大も恐れてヘッドの下

雷に大も恐れてヘッドの下
胡瓜採むあつさり味が母好み
小川にも網でつくるランバリ

大槻 京子

亡き母の背流すごとく墓洗ふ

亡き母の背流すごとく墓洗ふ
移住してみん捨ててく火取虫
けもの道と誘はれし夏の敷

三宅 昭子

電柱の片陰バス待つ屋下り

電柱の片陰バス待つ屋下り
アマンの祖となる父母の墓洗ふ
妹は永遠に少女な墓参り

安井 信子

コナ種に忍耐強き文化の日

コナ種に忍耐強き文化の日
夕焼けのビルなお高きそびえけり
霧笛の音前に秘め置き六十年

人生に台本はなし夏落葉

前向きに生きる信楽夏雲

手を当てて言葉も掛け墓参る

手を当てて言葉も掛け墓参る
車椅子孫が押し行く墓参り
片陰に女の語切も無し

須賀吐句志

主婦の座を渡して久し朝寝かな

主婦の座を渡して久し朝寝かな
春窮や飢え無き国の民のどか
「春窮」とは頃に収穫された農作物が冬に消費さ
れ、春を迎える頃は不足気味になるという意味
で使われる季語。当地でも乾季(冬)の影響で食
糧価格が高騰して消費者には心配なこともあるが
広大な国土、食べることに困ることはなく、鷹揚
な国民の気質はさほど気にすることもない。そ
んな思いが込められた朝寝

近藤佐代子

花いべり散りしく並木花むしろ

花いべり散りしく並木花むしろ
春窮や思ひはそれそれ老い二人
ほめられて自慢も少し梅の花

高木みよ子

花いべり散りしく並木花むしろ

花いべり散りしく並木花むしろ
春窮や思ひはそれそれ老い二人
ほめられて自慢も少し梅の花

菅原 治美

花いべり散りしく並木花むしろ

花いべり散りしく並木花むしろ
春窮や思ひはそれそれ老い二人
ほめられて自慢も少し梅の花

庭になる胡瓜一株たのもしき

コナ種時過ぎて早お正月

いずこよ聞かぬのははた神

いずこよ聞かぬのははた神
ランバリ釣は弁当の方が楽しんで
お正月夢も希望も新しく

佐藤けい子

雷に大も恐れてヘッドの下

雷に大も恐れてヘッドの下
胡瓜採むあつさり味が母好み
小川にも網でつくるランバリ

大槻 京子

亡き母の背流すごとく墓洗ふ

亡き母の背流すごとく墓洗ふ
移住してみん捨ててく火取虫
けもの道と誘はれし夏の敷

三宅 昭子

電柱の片陰バス待つ屋下り

電柱の片陰バス待つ屋下り
アマンの祖となる父母の墓洗ふ
妹は永遠に少女な墓参り

安井 信子

コナ種に忍耐強き文化の日

コナ種に忍耐強き文化の日
夕焼けのビルなお高きそびえけり
霧笛の音前に秘め置き六十年

人生に台本はなし夏落葉

前向きに生きる信楽夏雲

手を当てて言葉も掛け墓参る

手を当てて言葉も掛け墓参る
車椅子孫が押し行く墓参り
片陰に女の語切も無し

須賀吐句志

主婦の座を渡して久し朝寝かな

主婦の座を渡して久し朝寝かな
春窮や飢え無き国の民のどか
「春窮」とは頃に収穫された農作物が冬に消費さ
れ、春を迎える頃は不足気味になるという意味
で使われる季語。当地でも乾季(冬)の影響で食
糧価格が高騰して消費者には心配なこともあるが
広大な国土、食べることに困ることはなく、鷹揚
な国民の気質はさほど気にすることもない。そ
んな思いが込められた朝寝

近藤佐代子

花いべり散りしく並木花むしろ

花いべり散りしく並木花むしろ
春窮や思ひはそれそれ老い二人
ほめられて自慢も少し梅の花

高木みよ子

花いべり散りしく並木花むしろ

花いべり散りしく並木花むしろ
春窮や思ひはそれそれ老い二人
ほめられて自慢も少し梅の花

菅原 治美

花いべり散りしく並木花むしろ

花いべり散りしく並木花むしろ
春窮や思ひはそれそれ老い二人
ほめられて自慢も少し梅の花

庭になる胡瓜一株たのもしき

コナ種時過ぎて早お正月

いずこよ聞かぬのははた神

いずこよ聞かぬのははた神
ランバリ釣は弁当の方が楽しんで
お正月夢も希望も新しく

佐藤けい子

雷に大も恐れてヘッドの下

雷に大も恐れてヘッドの下
胡瓜採むあつさり味が母好み
小川にも網でつくるランバリ

大槻 京子

亡き母の背流すごとく墓洗ふ

亡き母の背流すごとく墓洗ふ
移住してみん捨ててく火取虫
けもの道と誘はれし夏の敷

三宅 昭子

電柱の片陰バス待つ屋下り

電柱の片陰バス待つ屋下り
アマンの祖となる父母の墓洗ふ
妹は永遠に少女な墓参り

安井 信子

コナ種に忍耐強き文化の日

コナ種に忍耐強き文化の日
夕焼けのビルなお高きそびえけり
霧笛の音前に秘め置き六十年

人生に台本はなし夏落葉

前向きに生きる信楽夏雲

手を当てて言葉も掛け墓参る

手を当てて言葉も掛け墓参る
車椅子孫が押し行く墓参り
片陰に女の語切も無し

須賀吐句志

主婦の座を渡して久し朝寝かな

主婦の座を渡して久し朝寝かな
春窮や飢え無き国の民のどか
「春窮」とは頃に収穫された農作物が冬に消費さ
れ、春を迎える頃は不足気味になるという意味
で使われる季語。当地でも乾季(冬)の影響で食
糧価格が高騰して消費者には心配なこともあるが
広大な国土、食べることに困ることはなく、鷹揚
な国民の気質はさほど気にすることもない。そ
んな思いが込められた朝寝

近藤佐代子

花いべり散りしく並木花むしろ

花いべり散りしく並木花むしろ
春窮や思ひはそれそれ老い二人
ほめられて自慢も少し梅の花

高木みよ子

花いべり散りしく並木花むしろ

花いべり散りしく並木花むしろ
春窮や思ひはそれそれ老い二人
ほめられて自慢も少し梅の花

菅原 治美

花いべり散りしく並木花むしろ

花いべり散りしく並木花むしろ
春窮や思ひはそれそれ老い二人
ほめられて自慢も少し梅の花

庭になる胡瓜一株たのもしき

コナ種時過ぎて早お正月

いずこよ聞かぬのははた神

いずこよ聞かぬのははた神
ランバリ釣は弁当の方が楽しんで
お正月夢も希望も新しく

佐藤けい子

雷に大も恐れてヘッドの下

雷に大も恐れてヘッドの下
胡瓜採むあつさり味が母好み
小川にも網でつくるランバリ

大槻 京子

亡き母の背流すごとく墓洗ふ

亡き

